

平成31年度（2019年度）第10回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和元年（2019年）12月9日（月）11時00分～12時00分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	半藤 英明
副学長	堤 裕昭
事務局長	斉藤 浩幸
文学部長	鈴木 元
環境共生学部長	松添 直隆
総合管理学部長	進藤 三雄
環境共生学研究科長	北原 昭男
学術情報メディアセンター長	村尾 治彦
学校法人 九州ルーテル学院長	内村 公春
株式会社 熊本日日新聞社 調査役	松下 純一郎
熊本県公立高等学校長会長	和久田 恭生
欠席：地域連携政策センター長	丸山 泰

監 事：公認会計士・税理士 河喜多 保典

事務局：手島事務局次長、三隅教務入試課長、丸山総務課長、平山教務入試課教務班長、佐藤教務入試課入試班長

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

① 令和2年度(2020年度)特別選抜における合格者決定について

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「特別選抜として推薦入試ほかの試験を実施し、各学部の教授会で可否の判定を行ったので、御審議をお願いします。試験は12月1日に実施し、推薦入試には、73名の募集に対して147名の志願者があった。農業・林業・水産科推薦入試には、若干名の募集に対して志願者はなかった。くまもと夢実現推薦入試には、2名の募集に対して1名の志願者があった。社会人入試には、若干名の募集に対して文学部、環境共生学部にそれぞれ1名の志願者があった。帰国子女入試には、若干名の募集に対して環境共生学部に1名の志願者があった。合格発表は本日午後1時30分を予定している。」との説明があった。

1) 推薦入試

文学部長から、「日本語日本文学科は、募集人員5名に対し、志願者20名。小論文と面接を実施。上位5名を合格としたい。英語英米文学科は、募集人員7名に対し、志願者10名。小論文と面接を実施。上位7名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

環境共生学部長から、「環境資源学専攻は、募集人員3名に対し、志願者8名。小論文と面接を実施。上位3名を合格としたい。居住環境学専攻は、募集人員4名に対し、志願者5名。小論文と面接を実施。上位4名を合格としたい。食健康環境学専攻は、募集人員4名に対し、志願者28名。小論文と面接を実施。上位4名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

総合管理学部長から、「総合管理学科は、募集人員50名に対し、志願者76名。総合問題と面接を実施。上位50名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) “くまもと夢実現” 推薦入試

副学長から「募集人員2名以内に対し、志願者1名。試験の結果、合格基準に達しており合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

3) 社会人入試

文学部長から、「英語英米文学科について若干名の募集に対し、志願者1名。筆記と面接を実施。十分な成績に達しておらず不合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

環境共生学部長から、「食健康環境学専攻について若干名の募集に対し、志願者1名。筆記と面接を実施。十分な成績に達しておらず不合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

4) 帰国子女入試

環境共生学部長から、「居住環境学専攻について若干名の募集に対し、志願者1名。筆記と面接を実施。十分な成績に達しておらず不合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」導入見送りに伴う令和3年度熊本県立大学入学者選抜方法の一部変更について

教務入試課長から資料2に基づき「高大接続改革に伴う令和3年度(2021年度)入学者選抜の見直しについては、予告公表を行っているが、英語民間試験の活用のための「大学入試英語成績提供システム」について、2020年度からの導入を見送り、延期することが文部科学大臣より示されたことから、改めて検討を行い、一般選抜における英語の資格・検定試験の活用は行わないこととしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 副学長の選考について

半藤学長から、資料3に基づき、「現、堤裕昭副学長の任期満了に伴う次期副学長について、熊本県立大学副学長選考規程に基づき選考したので、審議をお願いしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

4 その他

次回日程 平成31年度(2019年度)第11回 12月16日(月)
午後2時30分～ 本部棟2階 大会議室

5 閉会